

# 平成 17 年 3 月期 第 1 四半期業績の概況 (非連結)

平成 16 年 8 月 4 日

上場会社名 デジタルアーツ株式会社

コード番号 : 2326 大証 (ヘラクレス市場)

(URL <http://www.daj.co.jp/>)

代 表 者 代表取締役社長 道具 登志夫

問合せ先責任者 取締役経理本部長 後藤 茂

(TEL : (03) 5485-1340)

## 1 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- (1) 財務諸表等の作成に際して準拠した基準 : 中間財務諸表作成基準
- ・ 会計処理方法の変更の有無 : 無
  - ・ 中間決算等と異なる会計処理の有無 : 無
- (2) 公認会計士又は監査法人による関与の状況 : 無

## 2 平成 17 年 3 月期第 1 四半期の業績概況 (平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 6 月 30 日)

### (1) 経営成績の進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		当 期 ( 四 半 期 ) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	143	△2.8	△8	—	△8	—	△6	—
16 年 3 月期第 1 四半期	147	49.0	△18	—	△18	—	△6	—
(参考) 16 年 3 月期	609		△77		△77		△118	

	1 株 当 たり 当 期 純 利 益		潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 当 期 純 利 益	
	円	銭	円	銭
17 年 3 月期第 1 四半期	△430	87	—	—
16 年 3 月期第 1 四半期	△466	30	—	—
(参考) 16 年 3 月期	△8,148	63	—	—

### (2) 事業部門別の売上高内訳

	セキュリティ事業		インフォメーション事業		その他の事業		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 3 月期第 1 四半期	119	18.8	23	△9.5	—	—	143	△2.8
16 年 3 月期第 1 四半期	100	44.5	26	2.0	20	468.1	147	49.0
(参考) 16 年 3 月期	469		102		37		609	

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。
3. 当第 1 四半期、前第 1 四半期及び前期に係る潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、当期 (四半期) 純損失が計上されているため記載しておりません。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

1) 全体概況

当第1四半期（平成16年4月1日～平成16年6月30日）における売上高は、当社の中心事業であるセキュリティ事業において、前年同期を上回る119,528千円（前年同期比118.8%）と順調に推移しました。また、インフォメーション事業では売上高23,711千円（前年同期比90.5%）、その他の事業においては売上高0千円（前年同期は20,547千円）となり、この結果売上高全体では143,239千円（前年同期比97.2%）と計画通りの推移となりました。

一方、売上原価62,600千円（前年同期比100.1%）、販売費及び一般管理費89,429千円（前年同期比86.9%）とコスト面について全社的な費用の圧縮政策を実施したことによって、営業損失8,789千円（前年同期は18,066千円の損失）、経常損失では8,769千円（前年同期は18,003千円の損失）と、共に前年同期から大幅に改善いたしました。

当第1四半期は、売上高では前年同期に比べ若干減少しているものの、主力であるセキュリティ事業は計画どおり好調に推移し、売上高全体でも計画どおりの結果であり、営業損失並びに経常損失は当初の計画を大幅に改善する結果となりました。

2) 事業別概況

① セキュリティ事業

当第1四半期も継続してWebフィルタリングソフト「i-フィルター」の販売を機軸に事業を進めてまいりました。当事業において企業向け製品及び公共向け製品ではそれぞれ前年同期を上回り、当事業全体の売上を上昇させる牽引役となりました。家庭向け製品では前年同期に比べ売上が減少しているものの、当初の計画通りに売上は推移しております。

このことにより当セキュリティ事業全体の売上高では前年同期を上回る119,528千円（前年同期比118.8%）と当事業全体においても計画通り推移する結果となりました。

当事業における製品別の売上状況は下記の通りです。

	企業向け製品		公共向け製品		家庭向け製品		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第1四半期	62	5.3	39	216.8	17	△38.3	119	18.8
16年3月期第1四半期	59	190.8	12	△67.2	29	154.6	100	44.5
(参考)16年3月期	241		155		72		469	

- (注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。  
2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

a) 企業向け製品

企業向けWebフィルタリングソフト「i-フィルター Business Edition」の販売に注力する一方で、販売パートナープログラムやライセンスプログラムの確立など、制度面からの販売促進政策を同時に進めたことによって、前年同期を上回る売上高62,248千円（前年同期比105.3%）の実績となりました。販売ライセンス数は当第1四半期において36千ライセンス販売し、企業向け製品の累計販売実績では914千ライセンスを上回るまでに至っております。

また、当第1四半期において、NTTコミュニケーションズ株式会社との提携によって、「OCN Web ゲートウェイサービス」を利用する企業ユーザー向けにフィルタリングサービスの提供を開始いたしました。

b) 公共向け製品

前年度に学校を中心とした公共施設でのIT関連機器に対する予算の停滞状況は、当第1四半期から改善の兆候が現れ、年間において当第1四半期は閑散期にあたるにもかかわらず、当社の公共向け製品は前年同期を大幅に上回る売上高39,335千円（前年同期比316.8%）となり、当初の計画通り好調に推移いたしました。

また、繁忙期にあたる次四半期での売上拡大に向けWebフィルタリングソフト「i-フィルター School Edition」並びに学校向けに販売を行っているセキュリティ重視型総合サーバシステム「コミュニケーションサーバシステム」のバージョンアップに向けた開発を実施いたしました。

### c)家庭向け製品

家庭向け製品においては当第1四半期内に、新たに3社のISP（インターネットサービスプロバイダ）からWebフィルタリングサービスを開始いたしました。また、継続してNEC、SONY及び富士通製家庭向けパソコンへの「i-フィルター Personal Edition」の標準搭載を実施し、かつダウンロードによる提供も積極的に実施した結果、売上高は17,944千円（前年同期比 61.7%）となりました。前年同期に比べ売上高がやや減少いたしました。前年同期は一部のISPによるサービス開始に伴う受託開発費の売上計上が一時的に発生しており、これに起因するものであります。当第1四半期における家庭向け製品の売上は計画通り順調に推移いたしました。

また、当第1四半期において次四半期以降の主力となる「i-フィルター Personal Edition 3」の開発を完了し、7月の発売に向け準備が整いました。

さらに当第1四半期後半には、児童生徒のインターネット利用に関する関心が格段に高まったことから、当社が提供するWebフィルタリングソフトがその対策として有効であるとの認知が進み、当ソフトウェアの評価のための試用版ダウンロード件数が従来を大きく上回るペースで増加しております。

### ②インフォメーション事業

インフォメーション事業につきましては、企業向けに販売をおこなっている情報収集サービス「NET iScope」を中心に、売上高23,711千円（前年同期比 90.5%）と前年同期並みの推移となっております。

### ③その他の事業

前年同期は販売活動上一時的に発生したWebフィルタリング以外のソフトウェアによる売上が発生いたしました。当第1四半期は当初よりその他の事業における販売計画はなく、特筆すべき事項はありません。

### (3)財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
17年3月期第1四半期	921	850	92.3	58,622	01
16年3月期第1四半期	1,037	968	93.4	66,735	20
(参考)16年3月期	924	856	92.7	59,052	88

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### 【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
17年3月期第1四半期	1	△37	—	311
16年3月期第1四半期	60	△39	—	447
(参考)16年3月期	96	△177	—	346

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

### [財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における現金及び現金同等物は、前期末に比べ35,552千円減少し、当第1四半期末には311,155千円となりました。

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは1,650千円の収入となり、財務活動によるキャッシュ・フローは固定資産の取得により37,202千円の支出となっております。

なお、当第1四半期における財務活動はありません。

3 平成17年3月期の業績予想（平成16年4月1日～平成17年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	379	20	68	4,749 71
通期	780	50	84	5,818 27

今後当社のセキュリティ事業は、企業向け製品においてはその市場ニーズの拡大と共に、当社の売上も計画通りに拡大していくと予想しており、併せて次年度更新利用も計画通りに獲得できるものと思われま

す。公共向け製品につきましては、当第1四半期より国や地方自治体から各地域への予算の投下状況にも改善の兆候が現れており、今後はこの状況が継続するものと予想され、計画通りに売上が拡大するものと思われ

ます。また、家庭向け製品につきましては、当第1四半期後半にフィルタリングの必要性が各メディア通じて報道されたため、当社の製品に対するニーズが高まっており、7月上旬に新製品「i-フィルター Personal Edition 3」を新発売したこととの相乗効果により、今後大きく売上が拡大することが期待されます。

あわせて、この度インフォメーション事業の中心であった情報収集サービス「NET iScope」の営業権を売却したことにより、当社の経営資源をセキュリティ事業へ集中的に投下させていくことで、より一層売上の拡大に努めて参ります。

こうしたことにより、平成17年3月期の業績予想としまして、この度の営業譲渡に伴い利益面では変動があるものの売上高では当初の計画通り推移するものと予想しており、中間期で売上高379百万円（前年同期比98.6%）、経常利益20百万円（前年同期比113.0%）、当期純利益68百万円（前年同期比525.7%）、通期では売上高780百万円（前年同期比128.0%）、経常利益50百万円（前年同期は77百万円の経常損失）、当期純利益84百万円（前年同期は118百万円の純損失）を計画しております。

- (注) 1. 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
2. 平成16年10月1日付にて1株を3株とする株式分割を行う予定ですが、平成17年3月期（中間期、通期）の1株当たり当期純利益は、分割前の株式数により計算しております。

## 4 四半期財務諸表等

## (1) 第1四半期貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別 前 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成15年6月30日現在)		当 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成16年6月30日現在)		前 事 業 年 度 の 要 約 貸 借 対 照 表 (平成16年3月31日現在)	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
(資産の部)		%		%		%
I 流動資産						
1. 現金及び預金	447,666		311,155		346,707	
2. 受取手形	9,142		19,845		11,933	
3. 売掛金	112,279		124,463		114,499	
4. たな卸資産	151,636		6,567		6,677	
5. 繰延税金資産	58,248		25,390		30,048	
6. その他	17,030		14,307		11,743	
流動資産合計	796,002	76.7	501,728	54.5	521,610	56.4
II 固定資産						
1. 有形固定資産	34,821		42,326		43,856	
2. 無形固定資産						
(1) ソフトウェア	66,381		189,504		194,718	
(2) ソフトウェア仮勘定	84,474		29,138		12,871	
(3) その他	3,955		4,011		4,132	
無形固定資産合計	154,811		222,654		211,722	
3. 投資その他の資産						
(1) 繰延税金資産	—		111,732		103,984	
(2) その他	51,604		42,940		43,408	
投資その他の資産合計	51,604		154,673		147,392	
固定資産合計	241,237	23.3	419,653	45.5	402,971	43.6
資産合計	1,037,240	100.0	921,382	100.0	924,581	100.0

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 前第1四半期の投資その他の資産の「繰延税金資産」については、「その他」に含めて表示しております。

(単位：千円)

科目	期別	前 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成 15 年 6 月 30 日現在)		当 第 1 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成 16 年 6 月 30 日現在)		前 事 業 年 度 の 要 約 貸 借 対 照 表 (平成 16 年 3 月 31 日現在)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
	( 負 債 の 部 )		%		%		%
	I 流 動 負 債						
	1. 買 掛 金	643		294		843	
	2. 賞 与 引 当 金	3,901		4,477		14,700	
	3. そ の 他	64,367		66,006		52,180	
	流動負債合計	68,912	6.6	70,777	7.7	67,724	7.3
	負債合計	68,912	6.6	70,777	7.7	67,724	7.3
	( 資 本 の 部 )						
	I 資 本 金	552,200	53.2	552,200	59.9	552,200	59.7
	II 資 本 剰 余 金						
	1. 資 本 準 備 金	538,840		538,840		538,840	
	資本剰余金合計	538,840	52.0	538,840	58.5	538,840	58.3
	III 利 益 剰 余 金						
	1. 第1四半期(当期)未処理損失	122,712		240,434		234,182	
	利益剰余金合計	△122,712	△11.8	△240,434	△26.1	△234,182	△25.3
	資 本 合 計	968,327	93.4	850,605	92.3	856,857	92.7
	負債資本合計	1,037,240	100.0	921,382	100.0	924,581	100.0

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

## (2) 第1四半期損益計算書

(単位：千円)

科目	前 第 1 四 半 期 会 計 期 間 (自 平成15年 4月 1日) 至 平成15年 6月 30日)		当 第 1 四 半 期 会 計 期 間 (自 平成16年 4月 1日) 至 平成16年 6月 30日)		前 事 業 年 度 の 要 約 損 益 計 算 書 (自 平成15年 4月 1日) 至 平成16年 3月 31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%		%
I 売 上 高	147,366	100.0	143,239	100.0	609,379	100.0
II 売 上 原 価	62,515	42.4	62,600	43.7	264,020	43.3
売上総利益	84,850	57.6	80,639	56.3	345,359	56.7
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	102,917	69.8	89,429	62.4	422,648	69.4
営業損失	18,066	△12.2	8,789	△6.1	77,288	△12.7
IV 営 業 外 収 益	63	0.0	20	0.0	178	0.0
V 営 業 外 費 用	—	—	—	—	86	0.0
経常損失	18,003	△12.2	8,769	△6.1	77,196	△12.7
VI 特 別 利 益	9,107	6.2	—	—	9,107	1.5
VII 特 別 損 失	—	—	—	—	119,338	19.6
税引前第1四半期(当期)純損失	8,895	△6.0	8,769	△6.1	187,427	△30.8
法人税、住民税及び事業税	572	0.4	572	0.4	2,290	0.3
法人税等調整額	△2,702	△1.8	△3,090	△2.1	△71,481	△11.7
第1四半期(当期)純損失	6,766	△4.6	6,251	△4.4	118,236	△19.4
前期繰越損失	115,946		234,182		115,946	
第1四半期(当期)未処理損失	122,712		240,434		234,182	

1. 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。